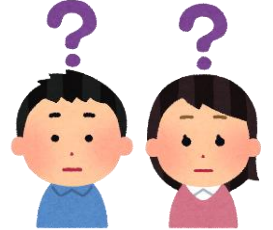


～書きかた教室通信～

Vo.4 2022.2

道具のお手入れきちんと出来ていますか??



★硯（すずり）…ぬるま湯で四つ角を中心に、軽くこすり洗い。
角に固まっている墨がある場合、歯ブラシなどで綺麗に落とす。

★大筆…流水で根本から優しく揉み洗い。筆を回しながら墨が出てなくなるまで続ける。（洗い残しがあると筆が固まり、傷みの原因に。）
乾かす際は、吊るして陰干し。吊るす場所が無ければ平置き。
筆を逆さにして乾かすのはNG×

★小筆…基本は筆の先だけを、濡らしたティッシュの上で撫でるようにして墨を落とす。根本まで筆がおろされてしまっている場合は大筆と同じ洗い方。乾かし方は大筆と同様吊るすのがベスト。

字を習うことだけが書道ではありません。
いつも使う道具を丁寧に手入れ・管理することも、書道を学ぶ上で非常に大切な作業の一貫です。いつも使う道具に感謝し、大切に扱いましょう！
是非、ご家庭でも使ったらすぐ洗う習慣をつけさせてください♪

道具は友だち♪
道具を大切にできない人に
上達は無し



～道具の手入れ豆知識～

★筆の根本…『腰』

★筆の先端…『命毛(いのちげ)』と言います。

この『腰』に墨が溜まりやすいので、重点的に洗いましょう！

シンクが墨で汚れるのが嫌な場合は、豆腐のパックや間口の広い容器に水またはぬるま湯を張り、その中で揉み洗いがおススメ！

➡ パックの水が透明になるまで根気よく繰り返しましょう。

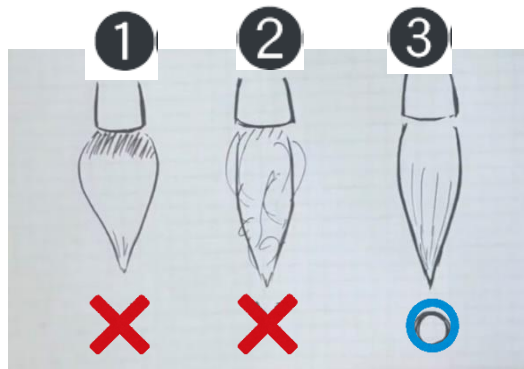


強い力でぐいぐい洗いすぎると毛の部分が取れてしまったり、筆の広がりや割れの原因になるので注意。自分の髪の毛を扱うように丁寧に、丁寧に。



時間が経って筆が固まってしまっている場合は、無理に洗わず、一度コップにぬるま湯を張りその中に1時間程度浸けておく。

(長時間浸けておくと毛を固定している接着剤が弱まってしまうので注意)



参考にしてね

✗ ① { 根本に墨が溜まっている×
強すぎる筆圧で根本を刺激しすぎて膨らんでいる×

✗ ② { 細かいくせ毛がたくさんついている状態×
きちんと乾かさずに濡れたまましまっている×

○ ③ { 買った状態をキープできている状態◎
洗い終わった後にきちんと整えているのでくせ毛が出てこない◎

